

総合戦略の重点業績評価指標(KPI)に関する資料(令和2年度実績)

基準値を上回り(維持し)、目標値に近づいた。
 目標値を達成した。

政策分野1 七戸町の経済効果をもたらすこと・雇用を創出する

| 政策分野 | 重点業績評価指標(KPI) | 担当課 | KPI算定式 (指標値の把握方法) | 目標値 (令和6年度) | 基準値 | | 実績 (令和2年度) | R2実績に関するコメント | 目標達成に向けた取り組み (KPI向上に資するため、令和2年度中に実施した具体的事業・取り組み) |
|----------------------------|-----------------|-------|----------------------|----------------|-------|----------|---------------|---|---|
| | | | | | 平成29年 | 30億円 | | | |
| 1-1 農家の所得向上の推進 | 野菜販売額 | 農林課 | 市町村別農業産出額 | 31億円 | 平成29年 | 30億円 | 30億円 | 基準値同等の販売額で推移しており、今後も販路拡大しながら販売額の向上を目指す。 | |
| | 野菜作付面積 | 農林課 | 農林水産関係市町村別統計 | 3,150ha | 平成29年 | 3,106ha | 3,090ha | 連作障害等の理由により基準値の面積から減少傾向にある。 | 七戸町野菜生産力向上対策事業 |
| | 畑作関連補助金申請件数(年間) | 農林課 | 補助金件数 | 65件 | 平成30年 | 61件 | 44件 | 町の単独事業の達成度が高く申請件数が減少となった。 | 七戸町野菜生産力向上対策事業 |
| 1-2 新規就農者の増加 | 認定新規就農者(認定登録者数) | 農林課 | 認定登録者数 | 15人 | 平成30年 | 10人 | 10人 | 認定新規農業者の仕組みや優遇措置等について周知徹底し、増加を目指す。 | 新規就農者定着化支援事業 |
| 1-3 安定した雇用の確保と安心して働ける環境の整備 | 創業支援相談人数(年間延べ) | 商工観光課 | 相談人数 | 40人 | 平成30年 | 22人 | 14人 | 新型コロナウイルス感染症の影響により前年度実績を下回る | 新型コロナウイルス対策として創業支援セミナーをオンラインで開催 |
| 1-4 道の駅を拠点とした地域産業の振興 | 観光消費額 | 商工観光課 | 消費額 | 1,000百万円 | 平成29年 | 854百万円 | 816百万円 | 新型コロナウイルス感染症の影響により前年度実績を下回る | 新型コロナウイルス対策(消毒液・検温器等設置) |
| | 道の駅利用者数 | 商工観光課 | 利用客数 | 1,000,000人 | 平成30年 | 774,176人 | 766,960人 | 新型コロナウイルス感染症の影響により前年度実績を下回る | 新型コロナウイルス対策(消毒液・検温器等設置) 新規事業展開(レストラン部門の弁当事業) |
| | 道の駅産直施設売上高 | 商工観光課 | 売上高 | 374百万円 | 平成30年 | 356百万円 | 381百万円 | 新型コロナウイルス感染症の影響により前年度実績を下回る | 新型コロナウイルス対策(消毒液・検温器等設置) |
| | 観光webサイトのアクセス数 | 商工観光課 | アクセス件数 | 135,000件 | 平成30年 | 117,466件 | 175,514件 | ページビュー数の上位は施設概要でスキー場、旅行村、道の駅の順であった。 | 適宜、情報の更新を行った。 |

政策分野2 七戸町の住民の幸せを守り、住みたいという希望をかなえる

| 政策分野 | 重点業績評価指標(KPI) | 担当課 | KPI算定式 (指標値の把握方法) | 目標値 (令和6年度) | 基準値 | | 実績 (令和2年度) | R2実績に関するコメント | 目標達成に向けた取り組み (KPI向上に資するため、令和2年度中に実施した具体的事業・取り組み) |
|---------------------|------------------------|------------|----------------------|----------------|-------|--------|---------------|--|---|
| | | | | | 平成30年 | 60棟 | | | |
| 2-1 居住環境の整備と移住定住の推進 | 新築住宅の建築数(年間) | 地域おこし総合戦略課 | 家屋調査件数 | 66棟 | 平成30年 | 60棟 | 54棟 | 概要調査(税務課)により確認。基準値より下回る結果となった。 | 新築した移住者に対して、60万円を上限に補助を行った。 |
| | 空き家等情報バンク登録件数(年間) | 地域おこし総合戦略課 | 補助金申請件数 | 10件 | 平成30年 | 6件 | 3件 | 令和元年度(6件)を下回る結果となったが、空き家・空き地利活用補助金の申請が1件あった。 | 令和元年度に引き続き、固定資産税納付書への掲載等周知を図った。 |
| | 子育て家族の転入世帯数(年間) | 地域おこし総合戦略課 | 住民異動届受付件数 | 33世帯 | 平成30年 | 27世帯 | 28世帯 | 令和元年度(23世帯)より増加となった。 | 令和元年度に引き続き、子育て世帯への家賃補助等を行った。 |
| | 移住相談窓口の利用件数(年間) | 地域おこし総合戦略課 | 窓口での相談件数 | 200件 | 平成30年 | 171件 | 72世帯 | 役場への問合せ:72件セミナーでの問合せ:(セミナー開催なし) | 新型コロナウイルスの影響により、セミナーへの出展を見送ったこともあり、相談件数が減少した。今後はオンラインでの情報発信強化を検討する。 |
| | 移住定住webサイトのアクセス件数(年間) | 地域おこし総合戦略課 | アクセス件数 | 12,000件 | 平成30年 | 未実施 | 20,198件 | 総件数:20,198件 うち、1月(web広告掲載月):9256件 | 首都圏に対し、移住ポータルサイトのweb広告を掲載したことにより、閲覧数が増加した。 |
| 2-2 交流人口の拡大 | 移住支援金支給者数(累計) | 地域おこし総合戦略課 | 補助金申請件数 | 5件 | 平成30年 | 未実施 | 0件 | 町へ移住推進と、人手不足が顕著な職種・企業での人材を確保し、活性化を目指すこととして令和元年度から始めた。R2の県内全体の実績は18件。 | 国の支給要件が拡充されたことに伴い、町の支給対象者の見直しを検討する。 |
| | 町内宿泊者数(年間延べ) | 商工観光課 | 青森県入込観光客数等調査 | 12,000人 | 平成29年 | 8,766人 | 3,477人 | 新型コロナウイルス感染拡大の影響により施設閉鎖等を実施。利用者数が大幅に減少した。 | コロナ禍でも販売できる七戸町オリジナル商品の開発 |
| | ふるさと納税返礼品(体験型)利用者数(年間) | 総務課 | 申込件数 | 6人 | 平成30年 | 未実施 | 0人 | 新型コロナウイルス感染症の拡大により体験型の募集をしなかった。 | |

政策分野3 若い世代の結婚をかなえ、出産・子育てしやすい環境を整える

| 政策分野 | 重点業績評価指標(KPI) | 担当課 | KPI算定式 (指標値の把握方法) | 目標値 (令和6年度) | 基準値 | | 実績 (令和2年度) | R2実績に関するコメント | 目標達成に向けた取り組み (KPI向上に資するため、令和2年度中に実施した具体的事業・取り組み) |
|--------------------------|-----------------------|------------|----------------------|----------------|-------|--------|---------------|--|---|
| | | | | | 平成30年 | 49人 | | | |
| 3-1 結婚希望者のサポート強化 | 交流イベント参加者数(年間延べ) | 地域おこし総合戦略課 | 参加者数 | 100人 | 平成30年 | 49人 | 2人 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、来場型のイベント開催が困難となったことから、基準値を下回った。 | 新型コロナウイルス感染症の感染対策を十分考慮したうえで効果的なイベントを検討する。 |
| 3-2 若い世代の出産・子育てにかかる経済的支援 | 普通出生率(人口1000人あたりの出生数) | 地域おこし総合戦略課 | 人口1000人あたりの出生数 | 6.3‰ | 平成30年 | 5.07‰ | 4.26‰ | 七戸町総人口:15,041人(令和3年3月1日時点) 出生数:64人 | 令和元年度に引き続き、新婚・子育て世帯への家賃補助を行った。今後は国庫補助金等も活用し、経済的支援を図る。 |
| 3-3 社会教育の強化などで子育て環境を充実 | 文化芸術事業への参加者数(年間延べ) | 生涯学習課 | 参加者数 | 3,000人 | 平成30年 | 2,750人 | 1,850人 | 新型コロナウイルス感染症拡大のため、県外業者への委託が多い芸術鑑賞事業は中止した。 | 城北子ども園919人、明照保育園176人、道ノ上こども園505人、榎林こども園・ちびっくルーム250人 |
| | イングリッシュ事業の参加者数(年間延べ) | 生涯学習課 | 参加者数 | 40人 | 平成30年 | 22人 | 14人 | 新型コロナウイルス感染症拡大のため、イングリッシュキャンプは中止し、イングリッシュデイは室内から屋外開催に変更した。 | 9月21日 イングリッシュデイ 14人 |

政策分野4 地域住民が輝き、地域全体が活気にあふれる地域づくりを行う

| 政策分野 | 重点業績評価指標(KPI) | 担当課 | KPI算定式 (指標値の把握方法) | 目標値 (令和6年度) | 基準値 | | 実績 (令和2年度) | R2実績に関するコメント | 目標達成に向けた取り組み (KPI向上に資するため、令和2年度中に実施した具体的事業・取り組み) |
|----------------------|-----------------------|-------|----------------------|----------------|-------|--------|---------------|--|---|
| | | | | | 平成30年 | 6,215人 | | | |
| 4-1 持続可能な地域づくりの推進 | 商店街コミュニティスペース利用者数(年間) | 商工観光課 | 利用者数 | 6,500人 | 平成30年 | 6,215人 | 2,342人 | 新型コロナウイルス感染拡大の影響により4/14~5/31までフリースペースを閉鎖。利用者構成の主であった高校生が外出自粛により大幅に減少した。 | 新型コロナウイルス対策(消毒液・検温器等設置) |
| 4-2 町民一人ひとりの健康づくりの推進 | 特定健診受診率 | 健康福祉課 | 受診率 | 60% | 平成29年 | 44.5% | 32.6% | 新型コロナウイルス感染症の流行から、健診機会の減少や健診控えをする者が多かったことにより、前年度から大幅な落ち込みとなった。 | 未受診対策として、無料クーポン券の発行等を実施した。 |
| | 健康増進スポーツ参加者数(年間延べ) | 生涯学習課 | 参加者数 | 500人 | 平成30年 | 258人 | 62人 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、例年実施していたスポーツ吹き矢体験やスポーツレクリエーション祭等のイベントを実施することができなかったことから、実績数値が低くなっている。 | 10月19日 カローリング体験 11人、 11月18日 ポッチャ体験 13人、 2月27日 指導者講習会 38人 |